

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金

オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学オンラインプログラム
所 属	商学部 商学科 1年

プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)

発音の基礎、自分の意見を述べる練習、英語でのコミュニケーションをとる練習に取り組んだ。意見を言うだけでなく、授業が始まるまでの軽い雑談も全て英語で話すので、本当に英語漬けの日々だった。授業に関すること以外に、先生と仲良くなりたいと思い、積極的に質問をするようにしていた。質問すると、倍ぐらいの量を返してくれたので、話が弾んで楽しかった。学習成果については、英語を話すことに対する緊張が解けていく実感があった。英語に対する不安と、内気な性格もあり最初は居心地が悪かったが、もっと意見を聞きたいという先生の姿勢が背中を押してくれた。今では自分の意見を尊重するようになり、英語をもっと話したいと思っている。

バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)

現地の学生との交流では、スライドを用意し、フィリピンを紹介してくれた学生もいれば、特に準備はなく、フリートーク形式の学生もいた。Netflix は毎回のように話題に出てきて、日本のアニメやおすすめの洋画などを紹介し合った。また、日本食はフィリピンでとても有名、人気で、日本食の影響の強さを知った。日本の学生に比べ、海外渡航経験がある学生は少なく、英語圏の海外への就職を希望するような学生も見られなかった。このプログラムに参加するまで、フィリピンは発展途上国に近いイメージを抱いていたが、私が話した学生らは、経済的に安定した生活を送っており、あまり日本の学生との差がないように感じた。

オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250～300 字程度)

メリットとしては、費用が安いこと、授業前後の時間を有効活用できることが挙げられる。自宅で受ければ移動時間もかからず、より多くの時間を自分の英語の勉強や他のことに利用できる。私は、毎日早起きして授業開始までの朝の時間を予習や復習に使い、授業後は英語の映画などを見ていた。一方デメリットは、交流を発展させづらいこと、現地の文化を直接体験できないことがある。SNS 上での繋がりは途絶えやすい。直接会うことができれば、もっと相手のことを知れて仲が深まりやすいと思う。また、異文化交流に関しては現地で生活すると、看板やニュース、メニュー表など、すべてが英語なので、さらに英語力は向上すると思う。

今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)

プログラムに参加し英語のスピーキング力を高め、長期留学の準備として、自分のレベルを客観的に見るため、IELTS を受けるという展望は変わっていない。プログラム最終日に先生から、「まだ文法的な誤りがあるものの、英語の発音はきれいだから、あとは大きく話すように。」という助言をもらい、自信がついた。授業を通して、自分の意見を伝えるためにまず、自分自身のことを考える機会が多くあったことで、より自分の性格、適性などを知ることができた。そして今後の目標として、大学卒業後にはカナダで働きたいという思いが強まった。まずは大学での長期留学、次にカナダで就職することを直近の目標とする。

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金

オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン 2022 春（オンライン）
所 属	商学部 商学部 2 年
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)	
<p>今回のプログラムでは、特に発音・アクセントやスピーキング能力について高めることができました。発音・アクセントに関しては、一日 1 時間の授業があり、マンツーマン指導で講師の人と自身のウィークポイントを知り、それを改善することができました。また、スピーキング能力については、多様なトピックを講師の方やクラスメンバーと共に議論することで、伸ばすことができました。夏や秋学期に留学を予定している人には、模擬留学を体験するいい機会だと思います。私自身も、今学期にアメリカへの留学を予定しているため、そういった方にもおすすめできるプログラムだと思います。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)	
<p>今回は、オンライン留学という形で、このプログラムが展開されました。しかし、何も遜色なくプログラムを進めることができました。</p> <p>週に 2 回（月、木：一時間ずつ）、現地の大学生と交流する機会があり、日本の文化とフィリピンの文化を比較することができました。特に、食、政治、宗教、観光地について意見を交わしました。また、交流会終了後に、インスタグラムを交換し、今でも連絡を取っています。今度、現地の子と zoom を開き、会話をする約束もしています。貴重な体験ができました。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250～300 字程度)	
<p>まずは、メリットをお話しさせていただきます。オンライン留学のメリットは、自分の好きな環境で、授業を受講できることです。この点は、人によって好き嫌いが分かれると思いますが、個人的には、効率的で集中して取り組むことができました。また、渡航の必要がなく、価格が安いというのもメリットだと思います。一方で、デメリットは、講師の方や現地学生の方の通信環境が良くないと、音声聞きづらかったり、少しストレスを感じる部分がありました。また、グループ授業で、イヤホンをしないで授業を受講している人がいると、ハウリングが起こり、授業が聞きづらいことがありました。しかし、メリットとデメリットを比較した際に、メリットの方が上回るので、オンライン留学でも積極的に受講してみたいと思います。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)	
<p>私は、前述したように、2022 年の夏に UC バークレーに留学することが決まっています。そのため、今回のプログラムは、その練習という意味で受講しました。将来、途上国を助けるサービスを展開する企業を立ち上げるといった目標を持つ私には、英語力は必要最低限に必要な能力になると思います。今回は、その土台作りをするいい機会になったと自負しております。また、このプログラムを経て、培った知識を基に、英語学習を継続していきたいと思います。また、現地学生との知り合いもできたので、定期的に情報を交換を行い、お互いの文化の理解を深めていきたいと思っています。みなさんも、是非、このプログラムに参加してみてください。非常におすすめです。</p>	

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金

オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学オンライン留学プログラム
所 属	文学部文学科英米文学専攻 1年
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)	
<p>主に英会話を通じて、スピーキング力を向上させるといったような内容でした。授業形態は、午前中はマンツーマンレッスンで現地の先生と 3 時間アクセントトレーニングや旅行や食などのトピックについての異文化交流をし、午後はグループに分かれて日常英会話の表現を学習したり、週に 2 回現地の学生と交流したりしました。</p> <p>この留学のおかげで、リスニング力が非常に向上したと思います。実際に、この留学が終わる直前に受けた TOEIC では、スコアが 100 点以上上がりました。こんなにわかりやすく結果が出ると思わなかったのとでも驚きましたし、正しい学習方法が身に付いたと感じました。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)	
<p>オンラインだったので、あまり授業以外の活動での交流はなかったです。しかし、現地の学生と話す機会があった際にはその場でそれぞれのインスタグラムを交換するなどしてお互いのプライベートやそれぞれの国の特有の文化について話すことができ、非常に楽しかったです。また、現地の学生には日本に対してあまり興味がない学生がいるといったことも考えて話した方がいいと思いました。留学中、そういった学生と出会った際に、うまく日本の文化の良さを伝えることが出来ず、消化不良のまま終わってしまうことがありました。そういった経験を活かすために、どのような表現を使えば相手が理解できるかといったことを授業の前後に考えられるようになり、よりこの留学が自分にとっていいものになっていったと思います。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250～300 字程度)	
<p>インターネット上での授業だったので、回線が悪いときは先生や現地の学生とコミュニケーションをとるのが非常に大変でした。また、時々時間通りに先生が来ないときがあり、line などを通じて現地の方に伝えたりして対応をしてもらいましたが、オンラインならではの難しさを感じました。しかし、オンラインだとしても内容は非常に充実していて、先生が私が発音できるようになるまで丁寧に教えてくれたし、授業の資料のほとんどがオンラインにあったので、隙間時間に予習復習がしやすく、授業とアルバイトなどの私生活を両立しやすかったです。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)	
<p>プログラムに参加する前は、どうしても受け身で受けてしまう授業が多く、自分の中でインプット中心になっているとよく感じていました。しかし、このプログラム中、自分が積極的に発言や発表をしていかないと授業についていけないと考えることが多く、自然と自分の考えを持ち、自ら発言出来るようになりました。これによって、授業に参加したことによる達成感や英語の学習成果を身に染みて感じましたし、今後の英語学習もインプットよりもアウトプットを中心に行なっていきたいと思いました。また、元々現地への留学を希望していたので、これからより英語学習に励み、現地への留学を実現していきたいと思います。</p>	

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金

オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学オンライン 2022 年春
所 属	理工学部 応用化学科 1 年
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)	
<p>私はこのプログラムでリスニング力、英語での表現力、発音やアクセントなどの発話力などを身につけることができた。また、今まで7年間ほど英語学習をしてきて、この勉強は意味があるのか疑問に感じていた。3週間の授業の中で勉強しておいてよかったと感じ、自信も身につけることができた。授業では相手の言葉を理解する、自分の考えを伝えるの繰り返しで適切な言葉選びはコミュニケーションにおいて非常に重要だと感じた。日本語で話すときも言い換え表現をいくつか考えて適した言葉を選ぶようになったと感じた。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)	
<p>現地の学生との交流や授業以外に活動はしていない。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250～300 字程度)	
<p>メリットは安い、オンラインのため日本で授業を受けることができる、普段通りの生活ができる、勉強環境を整えられるなどがある。一方でデメリットは現地の雰囲気味わうことができない、文化や観光地などに触れられないなどが挙げられる。現在はコロナ禍なので海外渡航制限もあり、現地に行くことが困難であることを考えるとデメリットよりもメリットの方が大きいと思った。費用も実際に留学した時と比較して、4分の1ほどに抑えることができる。そのため費用に対する学習効果の割合で考えるとどちらもそれほど大きな差はないと思った。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)	
<p>日本で英語を話す機会がほとんどないため英語力での変化はわかりづらいが、海外の映画などを見ると以前よりも聞き取れるように感じた。プログラム参加前よりも何かに挑戦することに対する不安が少なくなり、また自信もついたため様々なことに挑戦しようと思うようになった。英語でのコミュニケーションは短期間で習得できるものではなく、長い期間をかけて身に付くものであるため継続して勉強していきたい。また正解のない学問であるため、今後は留学も視野に入れながら英語学習に励み、他にも多くのことに触れていきたいと思う。</p>	

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金

オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学オンライン 2022 年春
所 属	農学部 農学科 2 年
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
<p>私が今回のプログラムに参加した理由は、自分のスピーキング及びリスニングスキルの向上です。はじめはネイティブスピーカーと話すことにとっても抵抗を感じ、なかなかうまく伝えることができませんでしたが、期間終了後には英語を話すことへの壁が小さくなったように感じました。今までこんなに英語を話し続けることがなかったのととても疲れましたが大変貴重な経験になりました。一方で自分の語彙力の少なさを痛感しました。</p> <p>今回のプログラムで自らの改善点が見え、英語学習へのモチベーションにつながったことが今回の大きい成果だと感じています。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
<p>今までフィリピンに対してバナナ、パイナップルなどの果物、島国らしいのイメージしかありませんでしたが、先生や現地の学生との文化交流のじかんでフィリピンという国の新しい面が多く知れました。例えばスペインの植民地であった歴史やコルディリエラの棚田、プエルトなどの世界遺産、フィリピンの食べ物など今まで全く知らなかったことがたくさん学べました。特にフィリピンの方の人柄に強く惹かれました。私のつたない英語に対して、文句を言うことなく理解しようとしてくれる態度がとてもうれしかったです。コロナが収束したらぜひ旅行してみたいです。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
<p>メリットとしては家から受けられる、価格が安いというのが大きいと思います。コンピューター1台で教科書の共有や課題の提出などすべて行えるのととても手軽だと思います。また費用に関しても、現地に実際留学する際は留学費用に加え、食費などの滞在費、交通費など他の費用が掛かるためここまでの低価格では行えないと思います。</p> <p>一方デメリットとしては留学の目的の一つである食事、人、宗教などの文化を直接感じられないことです。文化交流の時間は設けられましたが、「百聞は一見に如かず」やはり直接体験するにかなうものはないと思います。現地の友達と現地時間で生活するのも留学の醍醐味だと思います。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
<p>もともと海外への留学を希望しておりましたが今回のプログラムの参加で留学への気持ちを強めることができました。大きな理由として挙げられるのは一緒に参加していた学生の一人にすでに来年度からの留学が決定している同学年の子がいたことです。私は今までコロナだからしょうがないと留学に必要な TOEFL 未受験と留学の準備を怠っていました。しかし同じ状況の中すでに準備を整え留学の予定がある子の存在に気づき、自分の二年間の怠惰な生活を後悔しました。</p> <p>今回のプログラム後すぐに TOEFL を申し込みました。全く準備はできていませんが、自分のレベルを確認し目標までの道のりを確認できる大きな一歩になることを信じています。</p>	

明治大学 2021 年度【夏期】国際化サポート海外留学奨励金

オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学オンライン 2022 年春
所 属	国際日本学部 国際日本学科 2 年
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
<p>このプログラムは、1 時間マンツーマンで行う発音やアクセントのレッスン、2 時間マンツーマンで行う会話のレッスン、2 時間グループで行う会話のレッスンで構成されている。発音やアクセントのレッスンでは、スピーキングのときに前後の単語の音がつながる法則などについて学んだ。これについて理解できたことで、今後、自分の発音だけでなく、聞き取るリスニング能力の向上にも生かせると思う。会話のレッスンは、トピックについて話したり、実際の生活で起こりそうな状況を想定した会話をしたりした。マンツーマンと少人数のグループレッスンだった為、話す機会が多かった。最初は質問に対する回答のみなど口数が少なかったが、慣れてくると説明や理由の文章を付け足し、積極的に話すことができた。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
<p>現地学生と交流する機会は週に 2 回あった。フィリピンの食べ物や政治、観光名所などについて説明してくれた。おいしそう飲み物やきれいな海を見て、実際に行きたいなと強く思った。私も、日本について話す機会があったが、話そうと準備していたものを現地学生が既に知っていたことがあり、現地の人々が新しく知りたいことと、自分が話そうとしていたことにギャップがあるという経験をした。日本食や漫画、アニメに関しては詳しい人が多く、話が盛り上がった。また、フリートークになったときは、趣味やペットなどの、より身近なことについて話した。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
<p>メリットは生活リズムや生活環境が崩れないことだ。日本時間の午前 9 時から午後 3 時までのプログラムだった為、普段と同じ生活リズムで過ごすことができた。また、日本にいる為、生活環境にも大きな変化はなく、英語に触れる機会を増やすことができた。しかし、それはデメリットと捉えることもできると思う。英語に触れる機会を増やしたり、現地の文化などの話を聞き、知ることはできるが、オンラインで現地の実際の姿を感じ取ることは難しいと感じた。また、通信環境が悪いと授業が止まってしまうこともデメリットだと思う。通信環境が悪いときは、チャット機能を使って授業を継続することになった。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
<p>プログラム参加前は、自分の英語に自信がなく、プログラムへの参加を決めた理由も、スピーキングの力を伸ばしたいからだった。しかし、プログラムを通して、私が十分な英語力を既に持っていると言ってくれたり、現地の学生も「私はあなたの発音がきれいだと思う。」と言ってくれたりして、プログラム前より自信を持つことができた。自信を持つことができたのは、私にとって大きな変化だと思う。今後、英語とどう向き合っていくかは決まっていらないが、既に習得している英語に自信をもって、さらに発展させるために学習を継続したい。</p>	